

➤ 鹿児島全共まで残り171日！ ～第12回全国和牛能力共進会にむけ 巡回等続々実施中～

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会最終比較審査まで、残すところ171日となりました。今回は肉牛の部への出品候補牛に対して行われる巡回調査の内容をご紹介します！

巡回調査では、出品候補牛の「^{かたかくど}肩角度」の測定とサシ（脂肪交雑）の入り具合を調べる「超音波診断」等を行います。

◆ 肩角度

肩後部の形状を特製の定規を用いて計測しています。図1のとおり正中部（肩の付根部分）の角度を∠1とし、外側に向かって∠2, 3・・・と続きます。一般的にこの肩後形状は肥育が進むほど丸みを帯び、18か月齢に∠3が大きい牛は、順調に肥育が進んだものと評価され、枝肉成績も良い傾向にあります。

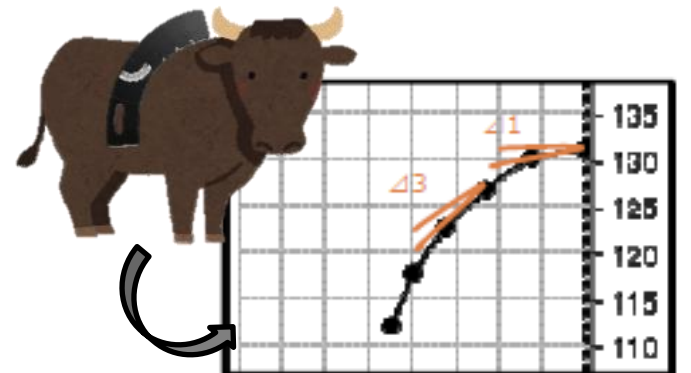


図1 肩角度の計測とその算出結果のイメージ

◆ 超音波診断

格付時の切開面である第6～7肋骨間に超音波測定用の器具（プローブ）を当て、ロース芯面積やその周囲筋の様子から肉質等を診断します。

診断するときのポイントは、①ロース芯と周囲筋との「境界が見えにくい」こと、②ロース芯内の白い点と周囲筋の白い点とで「濃淡（図2内②部分）の差が小さい」ことです！

このポイントに合致する牛ほど「サシが入っている」と診断されます。図2の上段（A3）と下段（A5）を見比べると、A5の方が、「境界が見えにくく」、ロース芯と周囲筋の白い点の「濃淡の差がそこまでない」ことがわかるでしょうか？

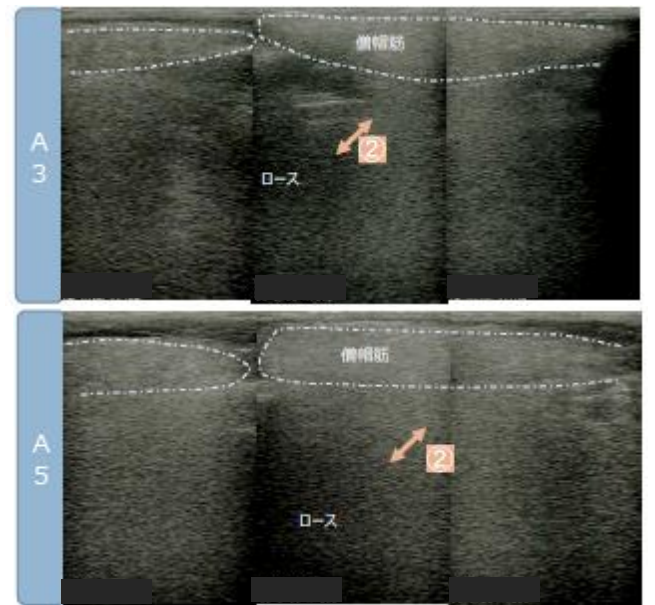


図2 超音波測定による肉質診断イメージ

【お知らせ】

★令和4年4月20日（水） 全共決起大会：みよしまちづくりセンターのペペらホール（三次市）にて開催

この大会では、全国和牛登録協会の向井会長理事を招き、「『和牛新時代 地域かがやく和牛力』～第12回全共のねらいと広島血統再構築への期待～」と題し、基調講演を予定しています。

★令和4年4月26日（火） 種牛の部 第1回立会調査：旧庄原家畜市場にて開催

★令和4年7月（予定） 肉牛の部 巡回調査

➤ 種牛の部も続々巡回中！ ～種牛6区全共幹旋会～

令和4年3月16日（水）、全農広島県本部三次CBS（三次市上田町）において、第12回全国和牛能力共進会種牛の部 第6区（一部3区併用）に係る候補牛の委託育成者を決定する幹旋会が行われました。委託育成期間は、最長10月の最終審査までとなります。

当日は、全共出品意欲の高い方々の多くの参加により開催され、予定の3頭全ての委託先が決定しました。全共『華の総合評価群』である6区の今後の動向に期待です！

<種牛6区対象牛候補（令和4年4月時点）>

名号	地区	父牛	母牛	備考
どいばら18	庄原	立烏帽子	どいばら8232	3区併用候補
たなか5の10	庄原	立烏帽子	たなか5	
なつは	庄原	立烏帽子	かねなお6	3区併用候補
たけわりえぼし	庄原	立烏帽子	たけわりさんしろ	
よしはなえぼし2	庄原	立烏帽子	かねなお6	3区併用候補（委託）
みつふくひさ4	三次	立烏帽子	みつふくひさ	3区併用候補（委託）
よしはなえぼし3	神石	立烏帽子	かねなお6	3区併用候補（委託）



（上）対象牛の繋養の様子です。3頭とも後躯の管は、平骨で骨じまりがよく、揃っていました。父牛立烏帽子号の特徴と言えます。

➤ 和牛施策の紹介 ～ 今年度の県の事業等のお知らせ ～

令和4年度、県の和牛生産等に関する実施事業を紹介します。積極的な情報収集と事業の有効活用により、経営発展を目指しましょう。

広島県重点推進事項

「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を目指し、ひろしまブランドに貢献する広島和牛のブランド化の推進と生産性を高めた持続性の高い企業経営体の確保・育成に取り組みます。

持続可能な広島和牛生産体制の構築

- **本県の独自性を活かした付加価値向上の取組による広島和牛ブランドの強化**
 - ・「比婆牛」がひろしまブランドに貢献する食の代表の一つとなるよう、これまでに策定したブランド戦略に基づき、高級飲食店での営業実証や比婆牛肉の食味分析を進め、比婆牛のブランドストーリーや特徴の有効性を検証し、更なるブランド力の向上を進めます。
 - ・この取組を県内外に広くPRするため、第12回全国和牛能力共進会の出品に向けた取組を支援します。



- **経営力向上による持続性の高い企業経営体の育成**
 - ・専門家派遣やチーム型支援、雇用・人材育成などの共通課題解決に向けた経営者セミナー等を活用した支援を推進します。
 - ・畜産GAP・HACCPなどの考え方による生産工程管理の普及定着に向け、モデル経営体による導入を推進します。

図 高級飲食店シェフによる料理と比婆牛のブランドストーリー

【経営力向上による企業経営体の育成支援に関するお知らせ】

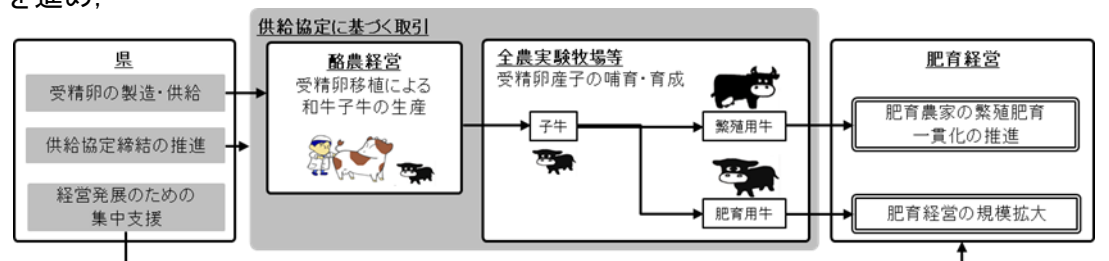
この支援の一環として「先進経営視察研修」があります。

常時雇用を行うような企業経営体への発展のため、必要な知識の習得（座学）や先進経営体の現地視察を盛り込んだ研修です。

座学では、経営発展に有効な『経営指針』や『経営計画』の作成を一から学べ、視察では農業経営体とともに、全国選りすぐりの先進経営体から直接そのノウハウを学ぶことができます！

「規模拡大にむけ色々な事例を知りたい！」「経営戦略を立て安定した経営を目指したい！」等、興味ある方はぜひ広島県畜産課までご連絡下さい。 連絡先：広島県畜産課広島和牛戦略担当 082-513-3598 （注意）研修のカリキュラムや費用等、留意事項があります。

- **生産基盤強化による広島和牛生産体制の構築**
 - ・酪肉近代化計画や畜産クラスター計画等に基づく事業等を活用した生産基盤の強化・拡大を図ります。
 - ・供給協定の取組の強化と酪農経営体への高受胎率卵の普及定着を進め、受精卵移植の受胎率向上の取組を推進します。
 - ・経営継承を希望する経営体の情報把握及び第三者への経営継承の仕組みを構築し、既存の経営資源の有効活用による維持拡大を図ります。
 - ・広島血統和牛の増頭と認知度向上に取り組みます。



《家畜を飼養・管理している皆様へ》 広島県からのお知らせ

- ◆家畜伝染病予防法に基づき、「定期報告書」を管轄の畜産事務所に提出してください。
- ◆提出期限は、毎年4月15日となっています。まだ提出できていない方は、できるだけ早く管轄の畜産事務所へ提出ください！
- ◆提出資料は、毎年2月1日時点の家畜の飼養状況・衛生管理基準のチェック表・農場平面図等です。様式の変更があります。資料は、広島県ホームページからダウンロードが可能です。広島県ホームページで「家畜伝染病予防法に基づく定期報告について」で検索してください。
- ◆提出は、郵送、ファクシミリ又はメールのいずれかの方法をお願いします。なお、メールアドレスは管轄の畜産事務所にお問い合わせください。

畜産事務所名	電話番号／FAX	管轄
西部畜産事務所	(082) 423-2441／(082) 424-1826	広島市、竹原市、東広島市、安芸高田市、熊野町、安芸太田町、北広島町ほか
東部畜産事務所	(084) 921-1311／(084) 921-1229	三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町
北部畜産事務所	(0824) 72-2015／(0824) 72-7334	三次市、庄原市

☆詳しくは、広島県ホームページで「飼養衛生管理基準」で検索、または、最寄りの畜産事務所にお問い合わせください。

Instagram、フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^_^)!



右のQRコードからご覧いただけます。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です！



広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パソコン版をご覧ください。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です。



今回は、令和4年5月27日発行予定！